

第23回 九州中学校ゴルフ選手権大会(チャレンジゴルフ)

開催日：平成30年6月12日(火)

開催コース：周防灘カントリークラブ

競技の条件

1. ゴルフ規則
日本ゴルフ協会ゴルフ規則とこのローカルルールを適用する。
2. 競技委員会の裁定
競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。
3. クラブと球の規格
(a) 『適合ドライバーヘッドリストの条件・規則付I(B)1a』を適用する。
(b) 『2010年1月1日施行の溝とパンチマークの規格に適合するクラブの使用を求める競技の条件』(裁定4-1/1)を適用する。
(c) 『公認球リストの条件・規則付I(B)1b』を適用する。
4. 競技終了時点
本選手権競技は、競技委員長の成績発表がなされた時点をもって終了したものとみなす。
5. ホールとホールの間での練習禁止
『規則付I(B)5b』を適用する。
6. プレーの中断と再開
(1) プレーの中断(落雷などの危険を伴わない気象状況)については、規則6-8b,c,dに従って処置すること。
(2) 険悪な気象状況にあるため、委員会の決定によりプレーが中断となった場合、同じ組の競技者全員がホールとホールの間に行ったときは、各競技者は委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。1ホールのプレーの途中であったときは、各競技者はすぐにプレーを中断しなければならず、そのあと、委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。競技者がすぐにプレーを中断しなかったときは、ゴルフ規則33-7に決められているような、罰を免除する正当な事情がなければ、その競技者は**競技失格**とする。**この条件の違反の罰は競技失格**(規則6-8b注)
(3) プレーの中断と再開の合図について
サイレンを使用せず本部より競技委員を通じて競技者に連絡する。
7. 移動
正規のラウンド中の移動について『規則付I(B)8移動』を適用する。

ローカルルール

1. アウトオブバウンズの境界は白杭をもって標示する。
2. 修理地は青杭を立て、白線をもってその限界を標示する。杭と線が併用されている場合は線がその限界を標示する。
3. 排水溝は動かさない障害物とする。
4. 人工の表面を持つ道路に接した排水溝は、その道路の一部とみなす。
5. 予備グリーンはプレー禁止の修理地(スルーザグリーン)とし、その上に球があったりスタンスがかかる場合、競技者は、ゴルフ規則25-1b(i)の救済を受けなければならない。このローカルルールの違反の罰は、2打
6. スルーザグリーンで、地面に球がくい込んでいるときは、その球は罰なしに拾い上げてふき、ホールに近づかず、しかも球の止まっていた箇所にてできるだけ近い所にドロップすることができる。ドロップの際、球はスルーザグリーンのコース上に直接落ちなければならない。このローカルルールの違反の罰は、2打
7. バンカー内の流水跡に球が止まった場合は、そのバンカー内のホールに近づかず球の止まっていた箇所にてできるだけ近い所にドロップすることが出来る。

注意事項

1. 競技の条件やローカルルールに追加、変更のあるときは、スターティングホールのティインググラウンド付近に掲示して告示する。
 2. グリーン保護のため、メタルスパイクシューズおよびタウン用シューズの使用を禁止する。必ずコース専用のシューズに履き替えること。
 3. 練習は指定練習場にて行い、打放し練習場においては備え付けの球を使用し、スタート前の練習は1人24球を限度とする。
ただし、ドライバーの使用は不可。
 4. プレーの進行に留意し、先行組との間隔を不当にあけないよう注意すること。なお、プレーの進行を不当に遅らせた場合はペナルティを課す
 5. 9ホール終了後、プレーを遅らせなければクラブハウスに立ち入ることができる。
 6. スタートの呼出は一切行わないので、スタート時間15分前までにはスターティングホールで待機すること。
- ※フォアキャディーが使用する旗についての意味
白旗：インバウンズまたは先行組がいないのでプレー可 赤旗：先行組がいるのでプレー不可
青旗：OBまたは紛失の恐れがあり、判断できない場合